

刺し網漁業 公表用実技試験問題（上級）

1. 作業の安全

(1) 安全装具の装着（5分）

- ① ゴム長靴、合羽、作業用救命衣、ヘルメットを装着する。
- ② 救助ロープをもやい結びで装着する。

【使用機材】各自通常使用中の上記装具、ロープ2m（人数分）

2. 漁具の製作・補修

(1) 漁具の製作（45分）

2mのロープに浮子3個を固定し、浮子網を作成する。

身網に浮子網と沈子網を取り付ける。別添参照。

【使用機材】ロープ2m、浮子3個、身網、沈子網、網針、網糸（人数分）

3. 漁具・漁労機械の操作

(1) ネットホーラーの操作（10分）

漁獲物（目印）の付いた網をネットホーラーで巻き上げ、漁獲物（目印）を適切に取り外す。

【使用機材】網一反、目印（ビニールテープ等）、ネットホーラーを
設備した漁船

4. 漁獲物の処理

※ (1)、(2) についてはどちらかを選択する。

(1) 魚体処理（10分）

複雑な工程の魚体処理の写真を正しい順序に並び替える。

【使用機材】魚体処理工程の写真・・・大日本水産会が用意

(2) 魚体処理（5分）

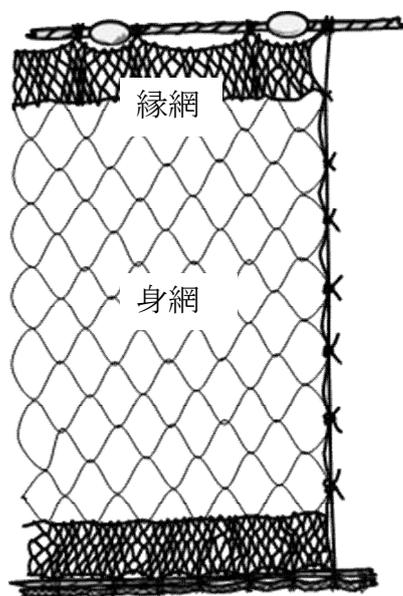
漁獲物の不要部位（えら、内臓）を除去する。

【使用機材】漁獲物、包丁（人数分）

以上

《別紙》

【完成例】



【浮子と浮子網、身網の付け方】

使う浮子により、添網が必要になる場合もある。
浮子側の仕立ては、次の通り。どれでも良い。

